

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	小山 久美
主な担当科目	バレエ・クラスⅠ①,バレエ・クラスⅢ①_A,バレエ・クラスⅢ①_B,バレエ・クラスⅢ②,バレエ演習Ⅰ①,バレエ演習Ⅰ②,バレエ演習Ⅳ①,公演実習①,公演実習②
2024年の教育目標・授業に臨む姿勢	学修に対する意欲や向上心を引き出し、自主的な取り組みを促しながら個々の学生たちの成長につなげていく。技術や表現力の修得や理解力を高めることで、ダンサーとしての能力を向上させるとともに、一つのものを創り上げる力や協調性など、ダンサーに限らず何においても求められる総合的な力の獲得にも重点を置いて臨む。
2024年の教育に関する自己評価	学生自身の気づきを生むような声かけや指導に努め、各自のペースに合わせて成長を導くことができた。個人としての成長だけでなく、学年全体としての対応力や全体的な水準の向上にもつながったと思う。
2024年のFD活動に関する自己評価	大学を取り巻く環境や、大学全体の方向性ならびに方針などに対する理解を深め、専門分野を通した大学教育への貢献について見つめ直す機会として活用している。
授業改善のために取り入れた研修内容	主に基礎ゼミの授業において、留学生への対応やプレゼンテーションにおける事例など、研修で得た情報を参考にした。

2024 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:1572 教員名:小山 久美

1) アンケート結果に対する所見

バレエコースにおける実技にあたる授業については、概ね出席率も良く、日頃から各学生が意欲的に取り組んでいる様子を確認できており、アンケート結果にもそのまま表れていると思う。卒業後の進路は様々でも、バレエ実技の授業を通して、集中力、協調性、忍耐力など、技術の向上だけにとどまらない総合的な成長につながるよう心掛けていきたい。

2) 要望への対応・改善方策

要望は特に見受けられなかったが、授業時間外の学修についてはあまり指導ができていなかったと思われるため、今後は学生のニーズなどを把握しながら、より積極的な学びにつながるよう授業に向けた各自の学修についても促していこうと思う。

3) 今後の課題

卒業後の進路についてはどの学生も悩みや困難にぶつかることが多く、少しでも手助けできるよう、どのようなサポートが有効で求められているのか考えつつ、丁寧で細やかな指導を目指す。

以 上